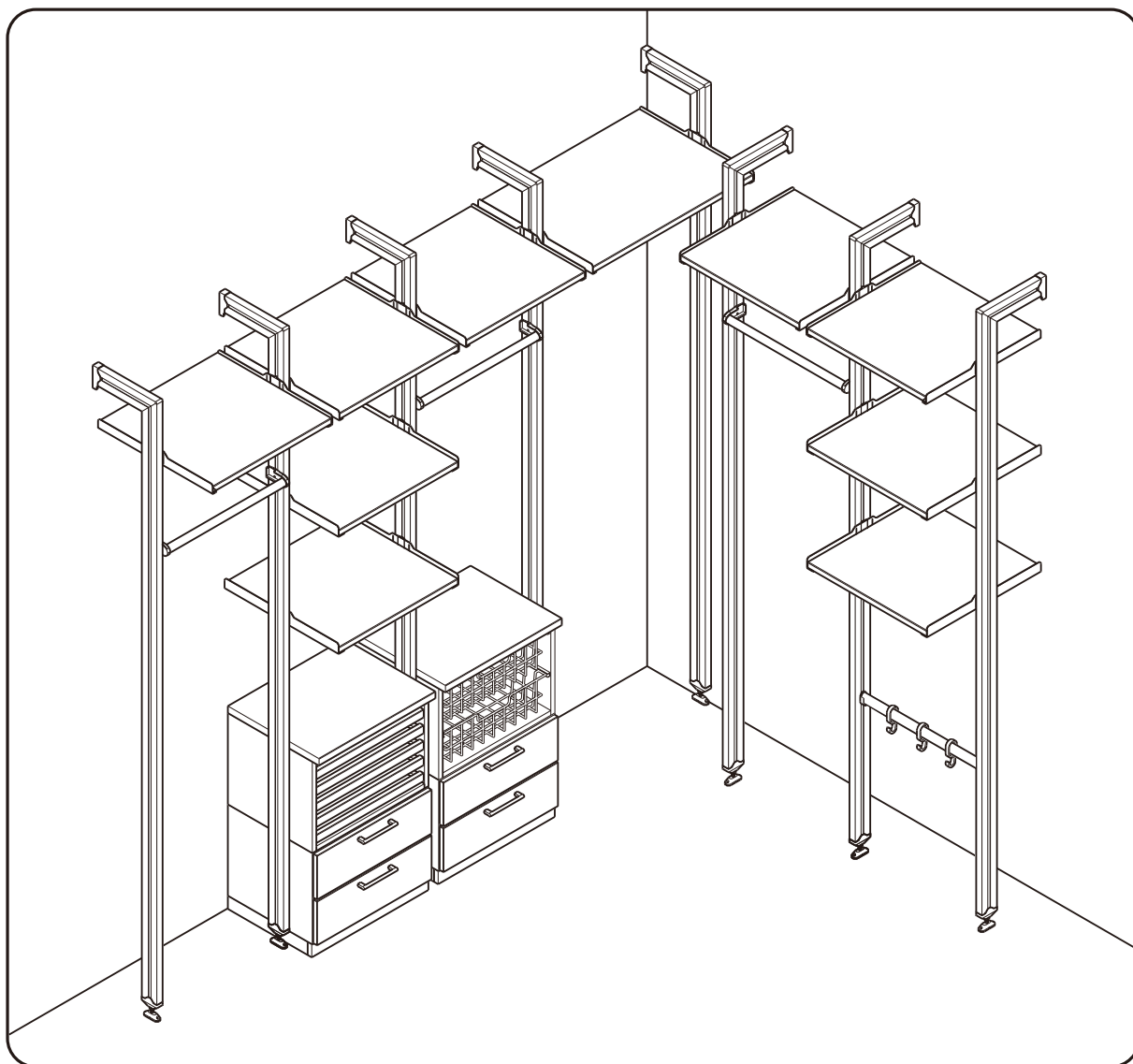


システム収納 フレームタイプ

組立て・取付け説明書



目次

■取付けされる方へのお願い	1
■部品・部材一覧表	2
■据付け前の準備	3・4
■取付け順序	5～10
1 壁取付用壁側フックの取付け	5
2 フレームの組立て	6・7
3 フレームの仮置き	7
4 最上段の棚板（標準サイズ）取付け	8
5 最上段の棚板（間口調整部／標準サイズ以外）取付け	8
6 アジャスターの調整とフレームの本固定	9
7 すき間隠しカバーの取付け	10
8 【L型プランの場合】壁取付用壁側フックの取付け	10
■組立て・取付け順序（内部パーツ）	11～13
1 ハンガーパイプセット・小物掛けパイプセットの取付け	11
2 棚板の取付け	11
3 引出しの設置（引出しすき間カバーの取付け）	12
4 寝具ラックの組立て	13
5 スライドパイプの取付け	13
6 オプションパーツの取付け	13

■取付けの前に

- 間口の調整は、棚板のカットで対応できます。間口調整部は、必ずプラン図で確認してください。（プラン図と異なる棚板をカットすると、引出しなどのユニットが入らなくなるおそれがあります。）
- 棚板・小物掛けパイプ・ハンガーパイプは、カットして間口調整部に取付けられます。

取付けされる方へのお願い

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●本製品は床にねじ留めを行いますので、床暖房パネル敷設部分への設置は絶対に行わないでください。感電・漏電・火災の原因となります。

▲注意

- 落下してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の下地材および45mm角2本以上の補強根太を設置してください。
 - ・下地材には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
 - ・下地材は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ12mm以上の合板を使用してください。
 - ・必ず指定の固定ねじ（φ3.5×30）を指定の本数使用してください。
 - ・必ず下地材の中央または厚さ12mm以上の合板に固定してください。
- タイルやエコカラットなどの厚みがあって割れやすい壁仕上げ材には施工できません。取付け強度不足による落下、破損のおそれがあります。
- 取付け時に商品仕様を変えるような加工をしないでください。おもわぬ事故につながるおそれがあります。
- 最上段の棚板は、1枚ずつ乗せてねじ固定してください。フレームが仮固定のため、フレームがズレた場合、棚板が落下してケガをするおそれがあります。
- アジャスターを45mm角2本以上の補強根太の入っている所に、必ずねじ留めしてください。躯体に十分な強度がないと、フレームが傾いたり脱落の可能性があります。
- 畳・カーペット・クッションフロア・コルク床など、ねじがきかない床面への設置はしないでください。
- 間柱ピッチは、500mm以下にしてください。躯体に十分な強度がないと、フレームが傾いたり脱落の可能性があります。

■取付け上へのお願い

- 壁面（躯体）に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが破損するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭が飛んだり、つぶれたりするおそれがあります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下り・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 壁面に結露が発生しないよう、壁面の断熱処理は十分に行ってください。
- 設置スペースの内装は、クロス張りなどで仕上げてください。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず組立て・取付け前にお買い求め店まで御連絡ください。（組立て・取付け後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）

部品・部材一覧表

■部品・部材一覧表

●商品に梱包されている部品・部材は、下表の通りです。梱包内容をご確認ください。

■基本部材

●施工キット

- ・取説
- ・アジャスター調整スパナ
- ・位置出し定規

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
取説	1
アジャスター調整スパナ	1
位置出し定規	1

●棚板セット(D=300・450・600)×(W=600・800・1200)

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
棚板	1
棚板受けアングル単品	2
棚板受けアングル用付属部品セット	1
内容	棚板受けアングル用すき間隠しカバー 2
内容	棚板固定ねじ(皿タップピンねじφ4×16) 4
L字アングル部品セット(W1200のみ)	1
内容	L字アングル 1
内容	キャビ側取付けねじ(皿木ねじφ3.1×16) 2
内容	躯体側取付けねじ(皿木ねじφ3.8×45) 2

●フレーム(D=300・450・600)

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
フレーム本体	1
アジャスター部品セット	1
内容	アジャスター本体 1
内容	床固定ねじ(皿タップピンねじφ3.5×30) 2
壁取付け部品セット	1
内容	壁取付用壁側フック 1
内容	壁側フック取付けねじ(ナベタップピンねじφ3.5×30) 2

■機能部材

●小物掛けパイプセット(W=600・800)

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
小物掛けパイプ	1
ブラケット	2
小物掛けフック	5

●カウンター(D=450・600)×(W=600・800)

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
カウンター	1

●スライドパイプ

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
スライドパイプ	1
取付けねじ(ナベタップピンねじφ3.5×20)	4

●ハンガーパイプセット(W=600・800)

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
ハンガーパイプ	1
ブラケット	2

●台輪(D=450・600)×(W=600・800)

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
前台輪	1
側台輪	左右各1
後台輪	1
組立て用ダボ(φ8×30)	8
組立て用接着剤(20g入)	1
連結用ダボ(φ6×20)	4

●寝具ラック

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
地板	1
サイドガード	左右各1
横棧	3
キャスターロック付き	2
キャスターロックなし	3
横棧取付けねじ(ナベ小ねじM6×10)	6
サイドガード取付けねじ(ナベ小ねじM4×35)	12
キャスター取付けねじ(トラスタップピンねじ4.5×12)	20

●バスケット棚(D=450・600)×(W=600・800)

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
キャビネット	1
バスケット	2
連結ダボ(φ6×20)	4

●バスケット棚(D=450・600)×(W=600・800)

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
キャビネット	1
バスケット	2
連結ダボ(φ6×20)	4

●引出し(組立て完成品)(D=450・600)×(W=600・800)

■梱包一覧表

部品・部材名称	入数
キャビネット	1
引出し	2
把手	2
連結ダボ(φ6×20)	4

●ネクタイ掛け

●ズボンスカート掛け

●ブーツハンガー(2個入)

●引出しすき間カバー(D=300・450・600)

据付け前の準備

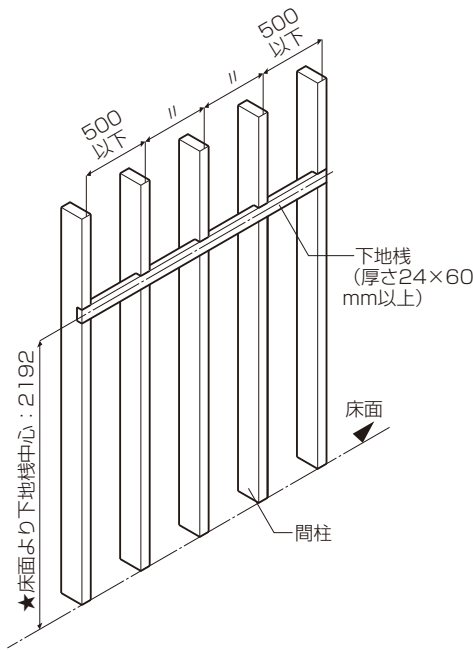
■据付け前の準備

1 下地木の固定

▲注意

- 下地木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
- 間柱ピッチは500mm以下にしてください。

★ フレームを切断し、高さ方向を低くする場合は、低くする寸法分差し引いた位置に下地木を取付けてください。



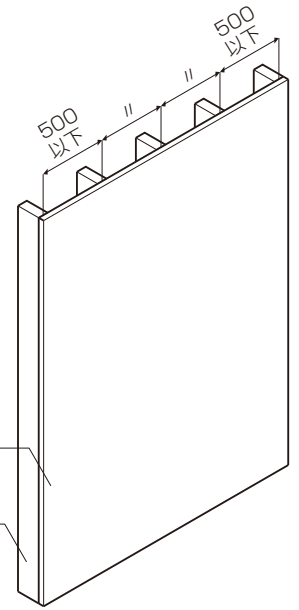
▲注意

- ベタ張りの場合は、厚さ12mm以上の合板を使用してください。

★ W=1200の棚板を使用する場合は、L字アンクルで固定が必要なためベタ張りで納めてください。

合板 (厚さ12mm以上)

間柱



2 躯体の準備

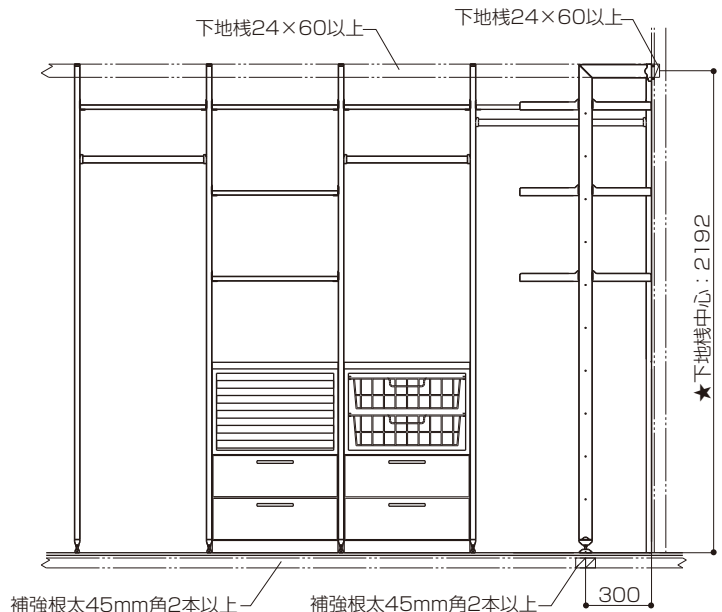
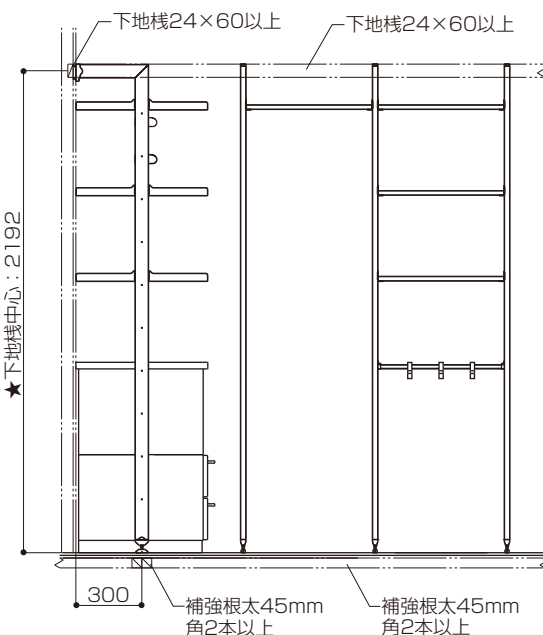
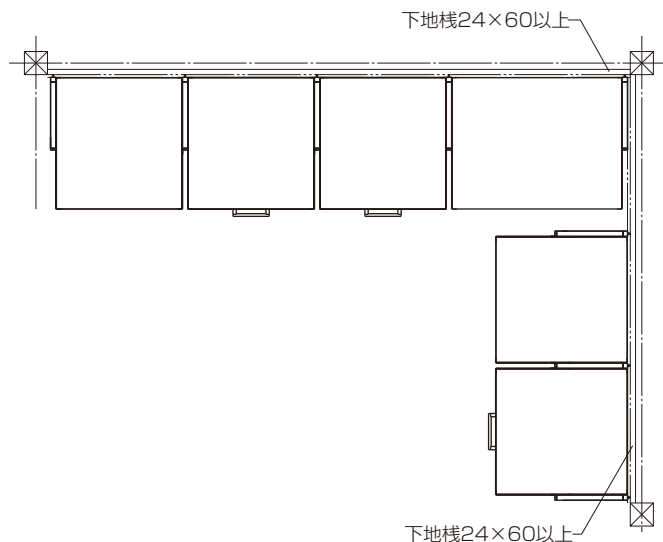
▲警告

- 本製品は床にねじ留めを行いますので、床暖房パネル敷設部分への設置は絶対に行わないでください。感電・漏電・火災の原因となります。

▲注意

- 図の位置に必ず補強根太および下地木を入れてください。

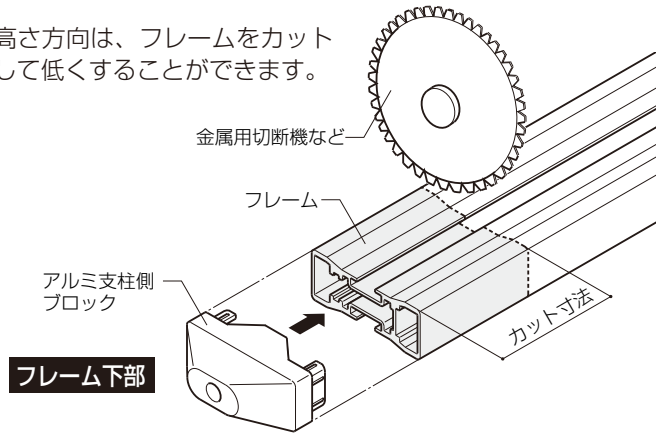
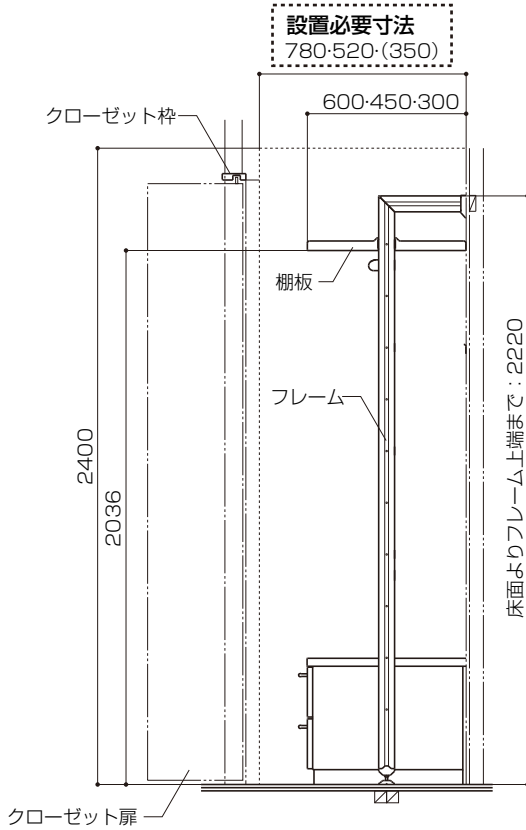
★ フレームを切断し、高さ方向を低くする場合は、低くする寸法分差し引いた位置に下地木を取付けてください。



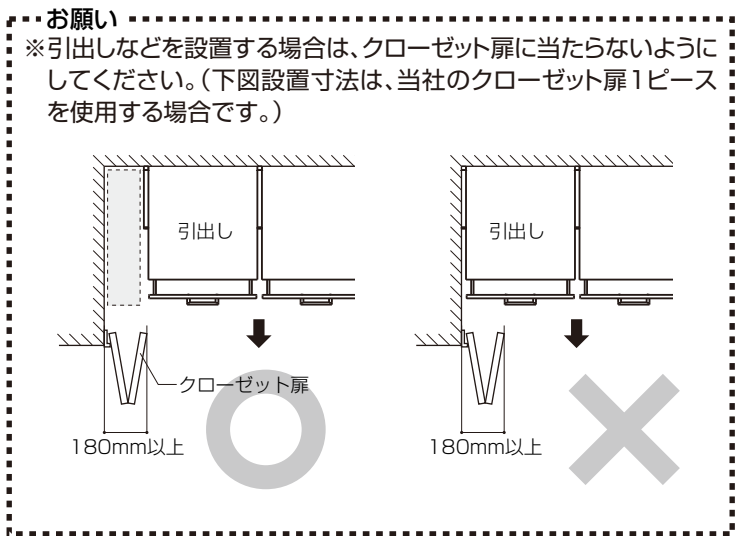
3 高さ・奥行き方向の納まり

※()内寸法は、引出し・スライド棚などを入れない寸法です。
 ※当社推奨プラン以外の組合せで使用する場合は、組合せに合わせた設置必要寸法を確保してください。

●高さ方向は、フレームをカットして低くすることができます。



■クローゼット扉を使用する場合

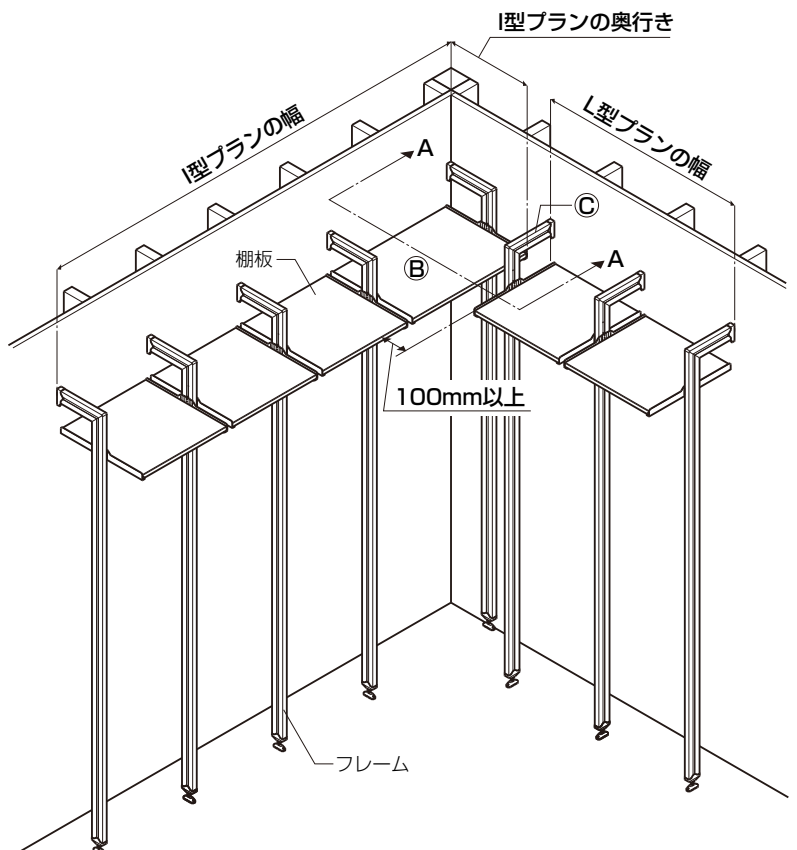
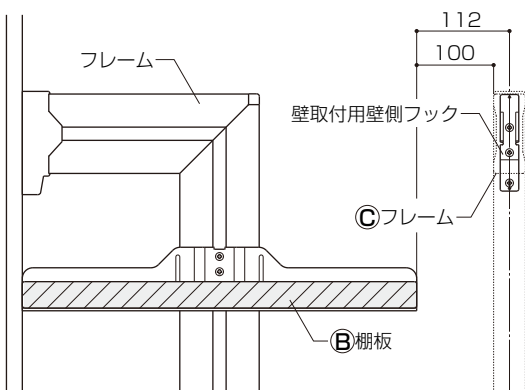


4 コーナーの納まり

※棚板前面からフレーム側面までは、100mm以上あけてください。

※壁取付け用壁側フックの中心までは、112mm以上あけてください。(詳細は、P5の手順「壁取付け用壁側フックの取付け」を参照してください。)

■コーナー部取付け詳細図 (A-A断面図)



取付け順序

※取付けの前に、必ずプランの確認をしてください。

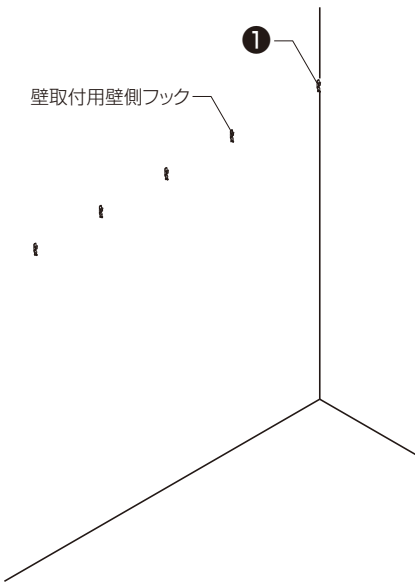
※間口調整は、引出しなどが入らないスパンのところで行ってください。

■取付け順序

1 壁取付用壁側フックの取付け

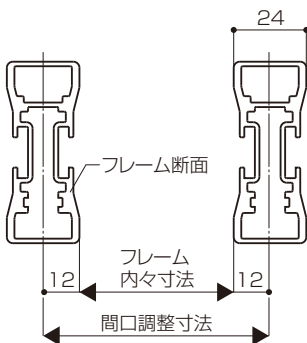
▲注意

- 壁取付用壁側フックを下地棧に必ずねじ止めしてください。



■フレーム内々寸法から間口調整部の寸法を出す場合

間口調整寸法 = フレーム内々寸法 + 24mm



■取付け詳細

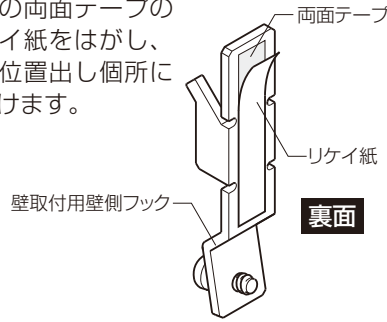
1 壁取付用壁側フックの取付け

①壁取付用壁側フックの取付け位置を出します。

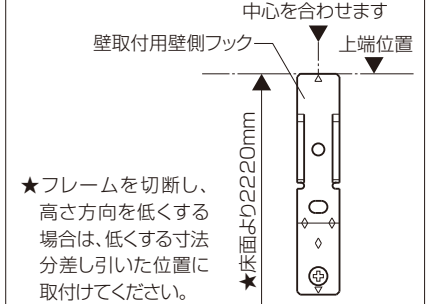
- 高さ方向→床面から2220mmの位置に水系を張ります。
- 横方向→壁の入隅から12mmの位置に印をつけ（幅木がある場合は、幅木厚さ分逃がします。）、そこからプランに合わせて寸法をとります。

②壁取付用壁側フック

裏側の両面テープの
リケイ紙をはがし、
壁の位置出し個所に
取付けます。



■取付け位置

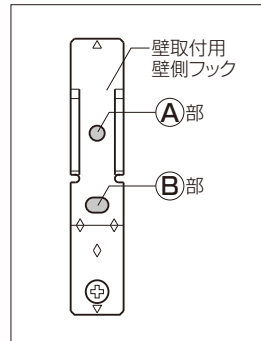


③壁取付用壁側フックを固定ねじで固定します。

(必要であれば、φ3の下穴をあけてください。)

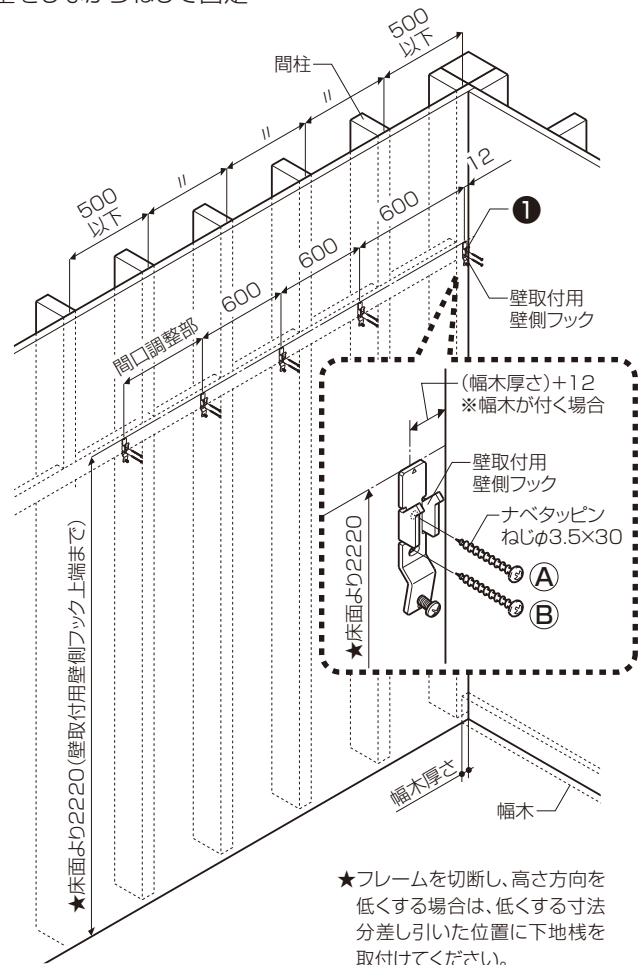
1) はじめにⒶ穴を固定します。

2) 次にⒷ穴(横長の穴)で、壁取付用壁側フックが垂直になるように微調整をしながらねじで固定します。



※幅木が付く場合は、①の壁取付用壁側フックを幅木厚さ分逃がしてください。

※間口調整部の寸法は、250mm以上にしてください。(棚板受けアングルを取付ける際、手回しドライバーが入らなくなるおそれがあります。)

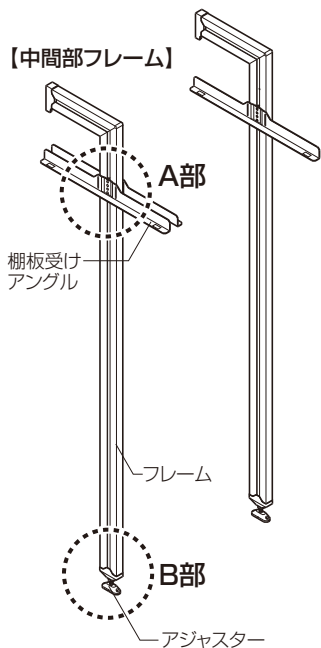


★フレームを切断し、高さ方向を低くする場合は、低くする寸差分し引いた位置に下地棧を取付けてください。

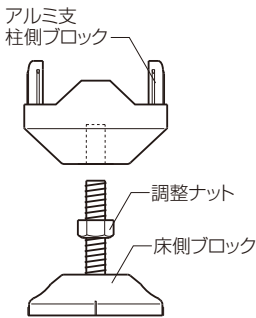
2 フレームの組立て

【両端部フレーム】

【中間部フレーム】



■アジャスター各部名称

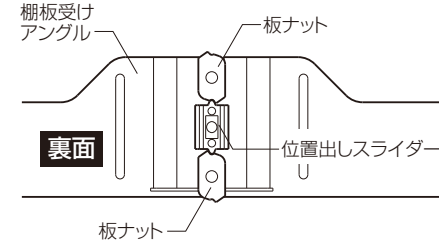


2 フレームの組立て

1) 棚板受けアングルの取付け(A部)

① 棚板受けアングル裏面の板ナットの角が下図の向きになっていることを確認し、板ナット・位置出しスライダーを一列にそろえます。

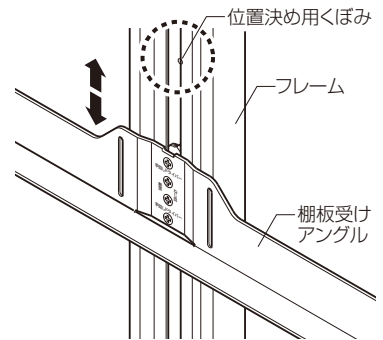
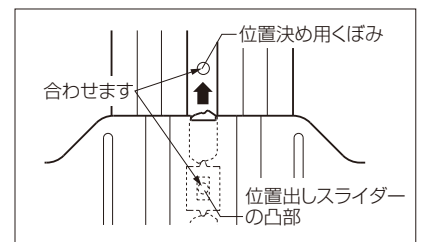
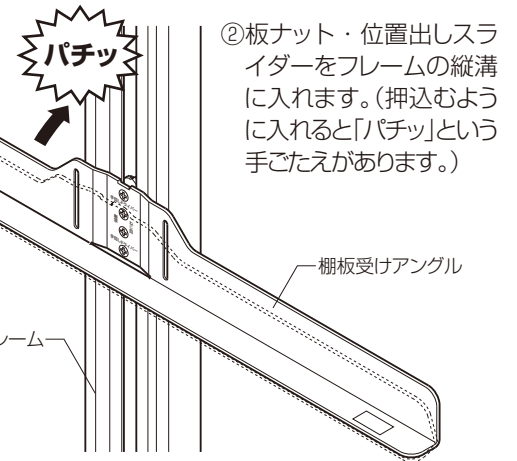
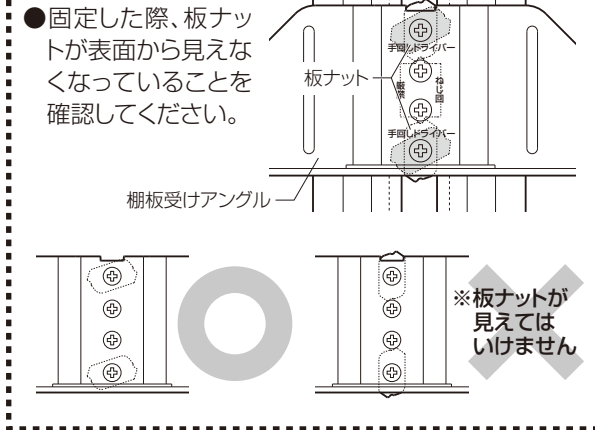
■棚板受けアングルを裏から見た図



③ 棚板受けアングルを上下にスライドさせ、位置出しスライダーの凸部をフレームの最上段の位置決め用のくぼみに合わせます。

■C部詳細図

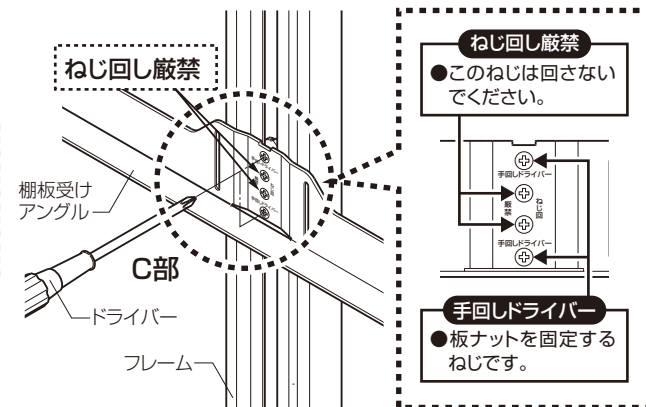
● 固定した際、板ナットが表面から見えなくなっていることを確認してください。



④ ドライバーで板ナットのねじを締め、棚板受けアングルの固定をします。

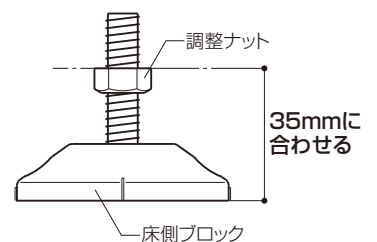
●お願い
※必ず手回しドライバーで固定してください。ねじ回し厳禁のねじは、さわらないでください。

※ドライバーにて固定後、棚板受けアングルに下方向の荷重をかけ、しっかり固定されていることを確認してください。

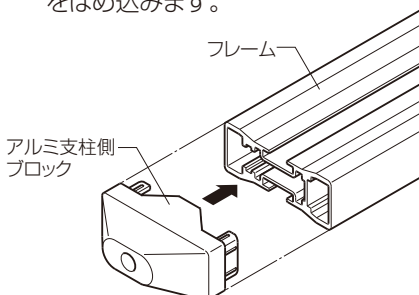


2) アジャスターの取付け(B部)

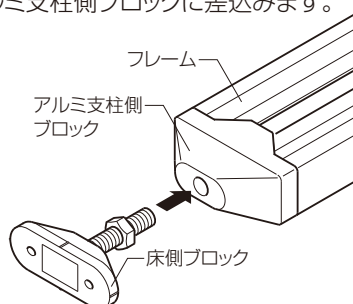
① 調整ナットの上面を床側ブロック下端から35mmに合わせます。



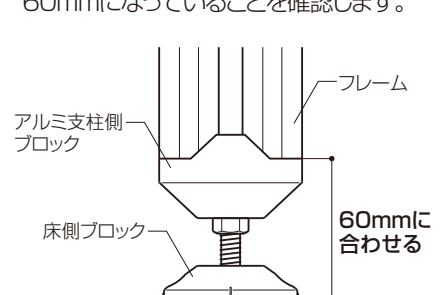
② フレーム下部にアルミ支柱側ブロックをはめ込みます。



③ 床側ブロックをフレーム下部のアルミ支柱側ブロックに差込みます。



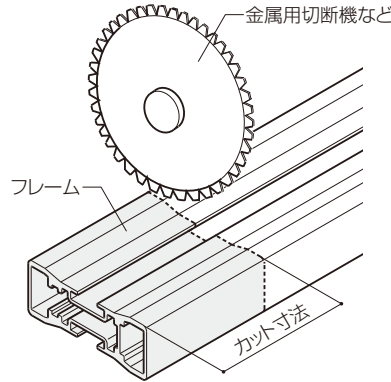
④ アジャスターの立ち上がり寸法が60mmになっていることを確認します。



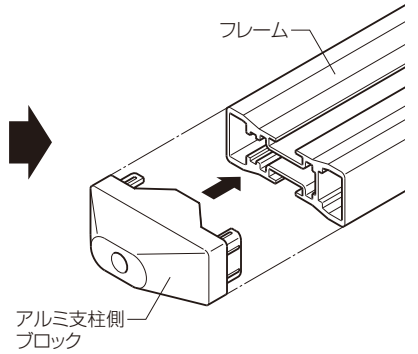
■高さを低くする場合(標準寸法はH=2220です。)

- お願い
- ※水平を確保するため、必ず下部をカットしてください。
 - ※1つのプランで使用する全てのフレームをカットしてください。
 - ※切断後、切断部のバリ取りをしてください。

①フレーム下端を低くする寸法分
カットします。



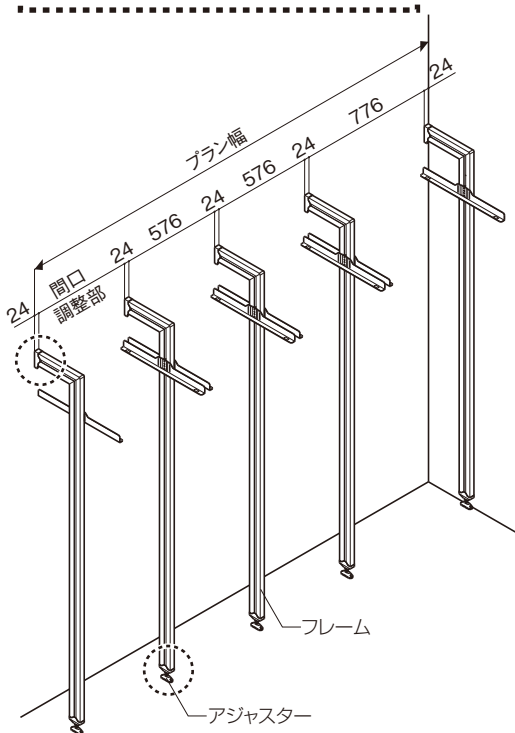
②フレーム下端にアルミ支柱側
ブロックをはめ込みます。



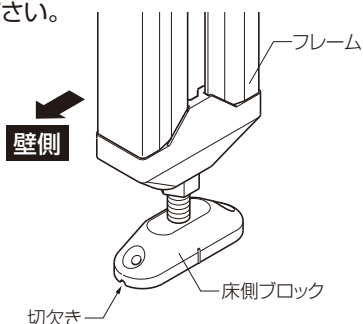
③フレームの仮置き

- ※床面固定は、ここでは行わないでください。
- フレームをプランに合わせて仮置きします。

- お願い
- ※必ずプラン図を確認してください。



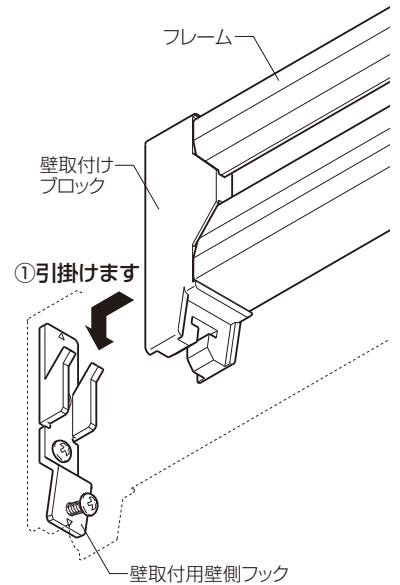
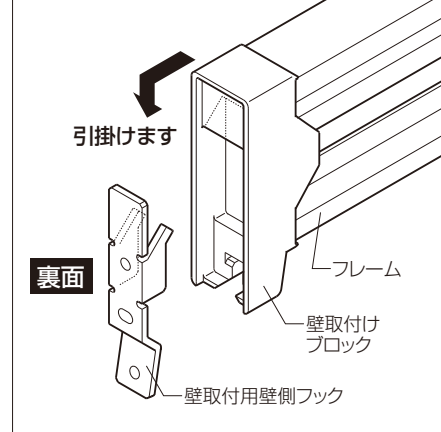
- お願い
- ※床側ブロックの片側に切欠きがあります。切欠きのある側を壁側に向けて設置してください。



③フレームの仮置き

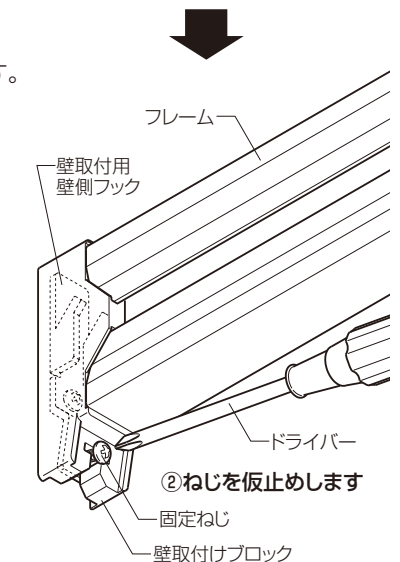
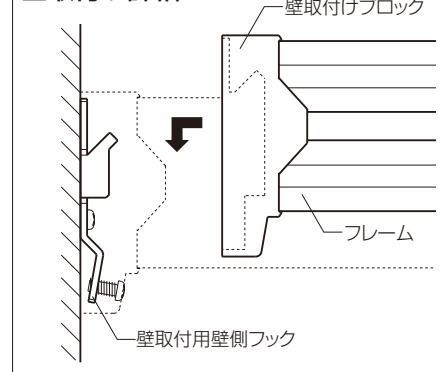
①壁取付用壁側フックに、フレームを斜め
上から引掛けるようにして、差込みます。

■裏から見た図



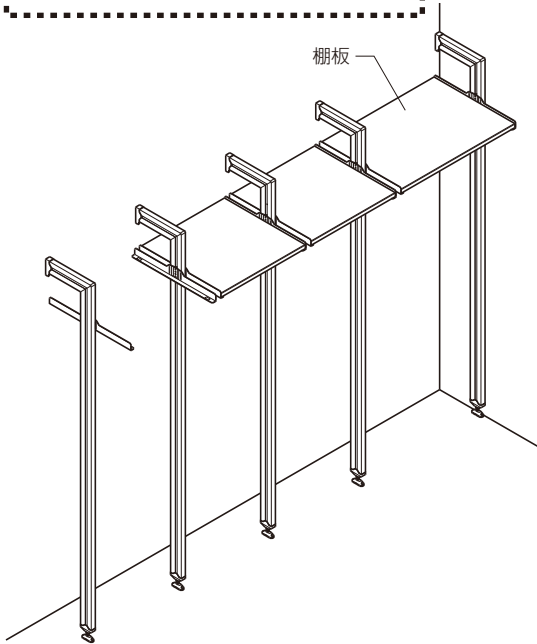
②壁取付用壁側フックのねじで仮止めします。

■取付け詳細



4 最上段の棚板(標準サイズ)取付け

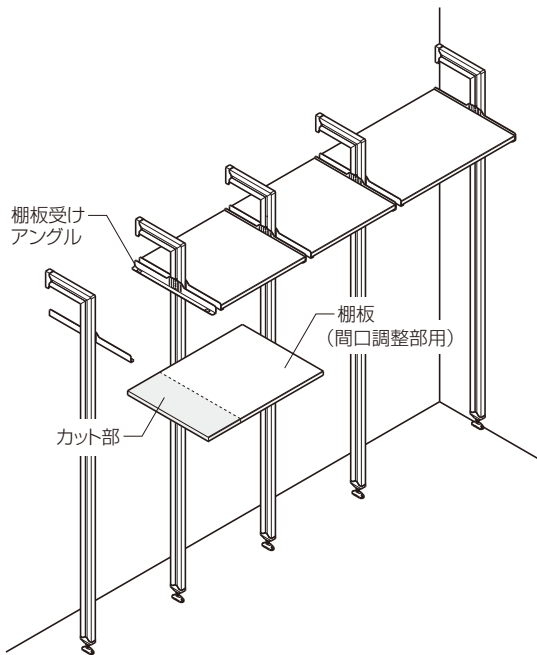
●お願い
※必ずプラン図を確認してください。



▲注意

- 最上段の棚板は1枚ずつ乗せてねじ固定してください。フレームが仮固定のため、フレームがズレた場合、上段棚板が落下してケガをするおそれがあります。

5 最上段の棚板(間口調整部/標準サイズ以外)取付け

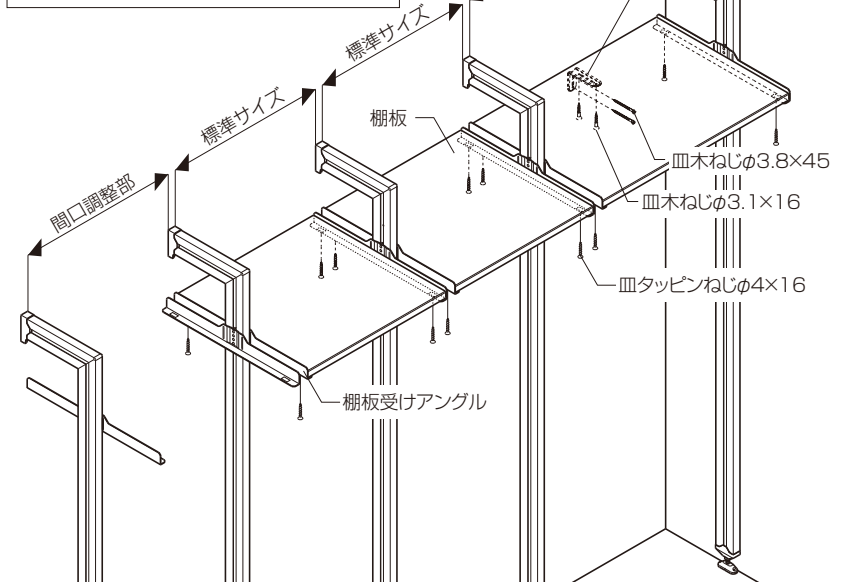


4 最上段の棚板(標準サイズ)取付け

※プランの中で、標準サイズ(W=600・800・1200)部分の最上段の棚板を取付けます。

- フレーム上部の棚板受けアングルに、棚板をのせて下側から棚板受けアングルの取付け穴に合わせて、取付け用ねじ(皿タップインねじφ4×16)で固定してください。
- W1200の場合は付属のL字アングルを取付けます。同梱の取付けねじ(皿木ねじφ3.1×16、皿木ねじφ3.8×45)で固定してください。

■L字アングル取付けねじ



■棚板取付けねじ

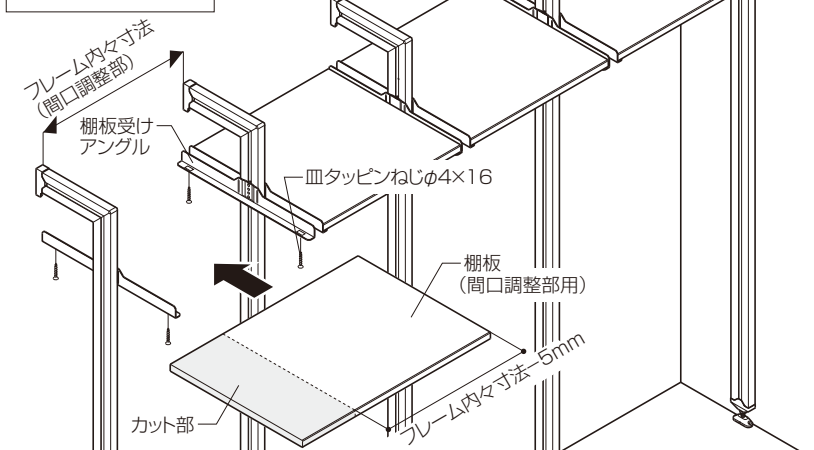


5 最上段の棚板(間口調整部/標準サイズ以外)取付け

- 間口調整部の棚板を現場寸法に合わせてカットして、取付け用ねじ(皿タップインねじφ4×16)で必ず固定してください。
- ・棚板切断寸法=フレーム内々寸法-5mm
- ※最上段以外の棚板も上記の計算式で切断してください。
- カットした棚板のWが900mm以上の場合は必ず付属のL字アングルで固定してください。

●お願い
※棚板をカットする部分は、必ずプラン図で確認してください。プラン中の標準サイズ部分の棚板をカットすると、引出しなどのユニットが入らなくなります。

■取付けねじ

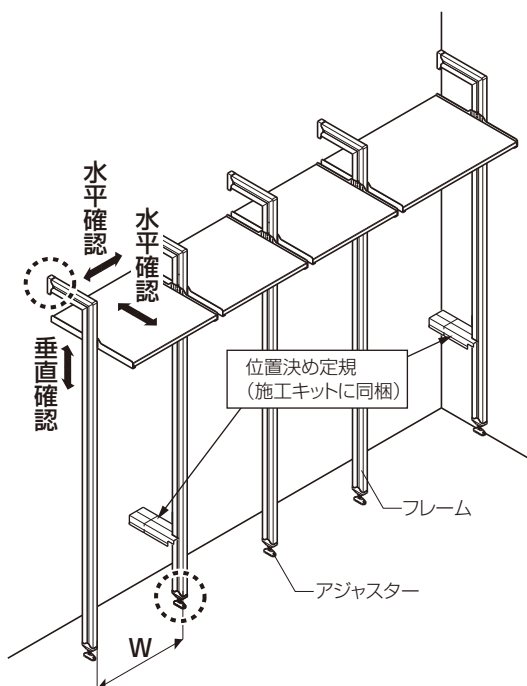


6 アジャスターの調整とフレームの本固定

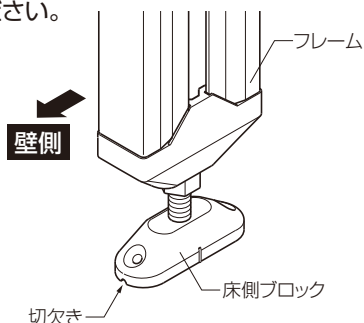
▲注意

- アジャスターを45mm角2本以上の補強根太の入っている所に、必ずねじ留めしてください。
- 畳・カーペット・クッションフロア・コルク床など、ねじがきかない床面への設置はしないでください。

●お願い
※必ず水平・垂直に取付けてください。



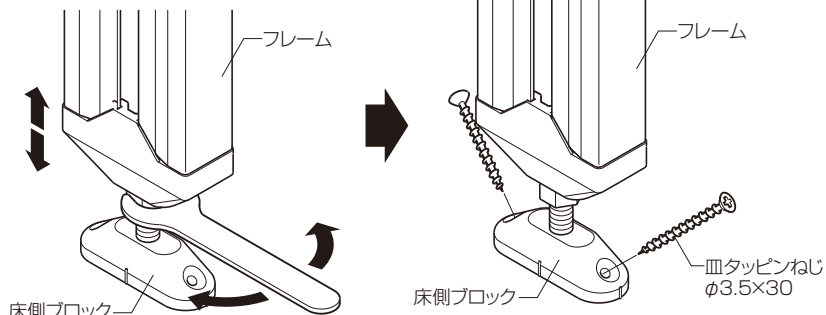
●お願い
※床側ブロックの片側に切欠きがあります。切欠きのある側を壁側に向けて設置してください。



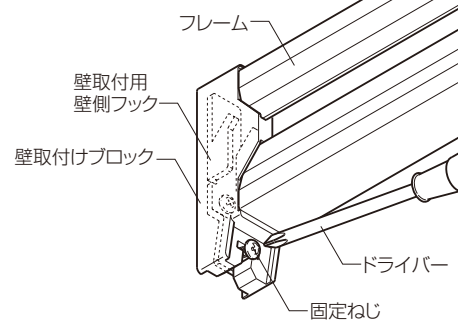
6 アジャスターの調整とフレームの本固定

●床側ブロックで高さ調整をした後、フレームを壁面および床面に本固定します。(必ず全てのフレームを固定してください。)

- ①スパナで床側ブロックの調整ナットを回し、床側ブロックの高さを調整してください。
- ②床側ブロック固定ねじで、床面に本固定してください。

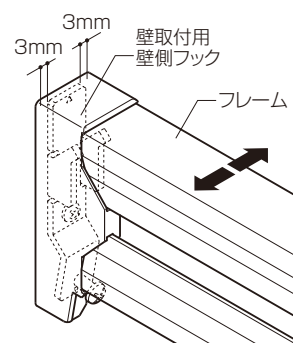


- ③フレームの壁取付用壁側フックの固定ねじをドライバーで締めて固定します。



■左右調整方法

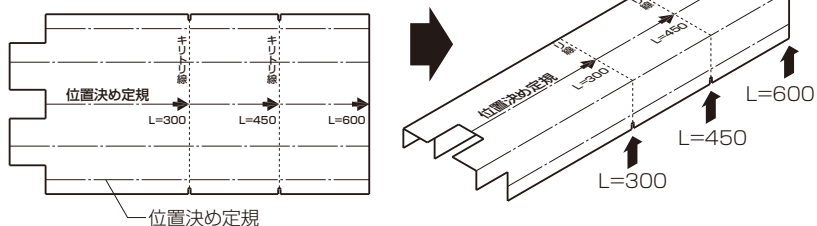
※左右3mm調整可能です。



※奥行き方向は位置決め定規で、幅方向はスケールで測り、フレームの位置決めをしてください。

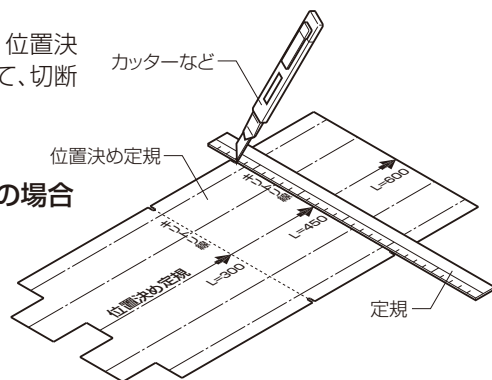
■位置決め定規の作り方

- ①位置決め定規(施工キットに同梱)を右図のように折り曲げて使用してください。

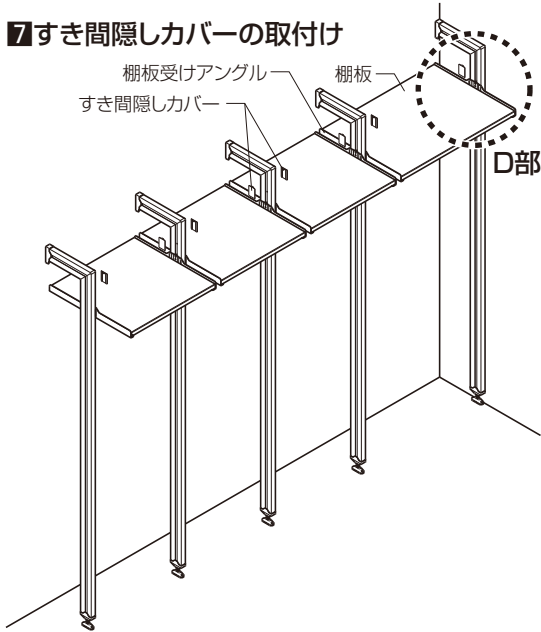


- ②L=300・450の場合は、位置決め定規のキリトリ線に沿って、切断して使用してください。

例) L=450の場合



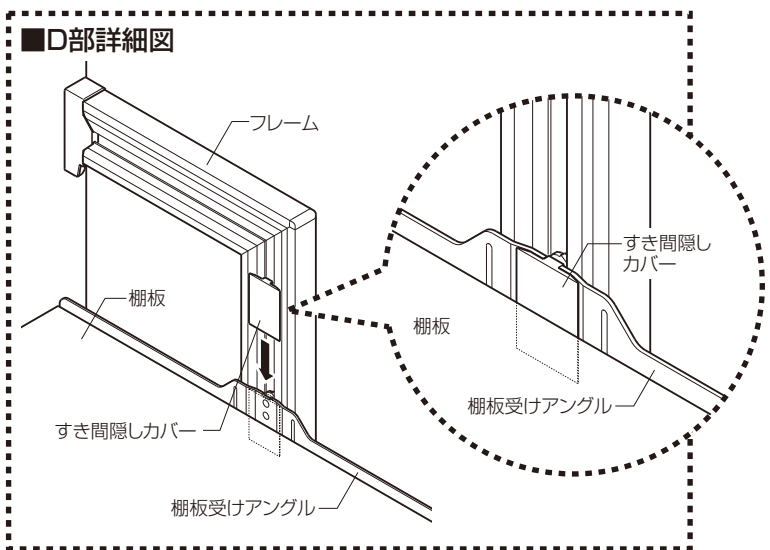
7 すき間隠しカバーの取付け



7 すき間隠しカバーの取付け

①棚板受けアングルにすき間隠しカバーを取付けます。(■D部詳細図参照)

■D部詳細図

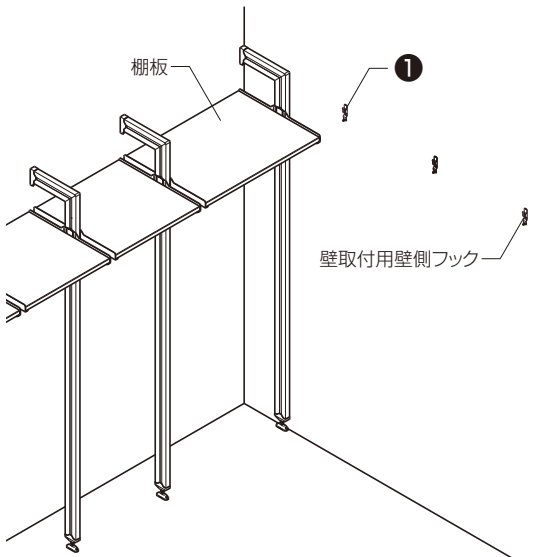


●お願い
※全てのフレームを固定した後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

8 [L型プランの場合]

壁取付用壁側フックの取付け(もう一方の壁面側)

●お願い
※必ずプラン図を確認してください。



★フレームを切断し、高さ方向を低くする場合は、低くする寸法分差し引いた位置に下地桟を取付けてください。

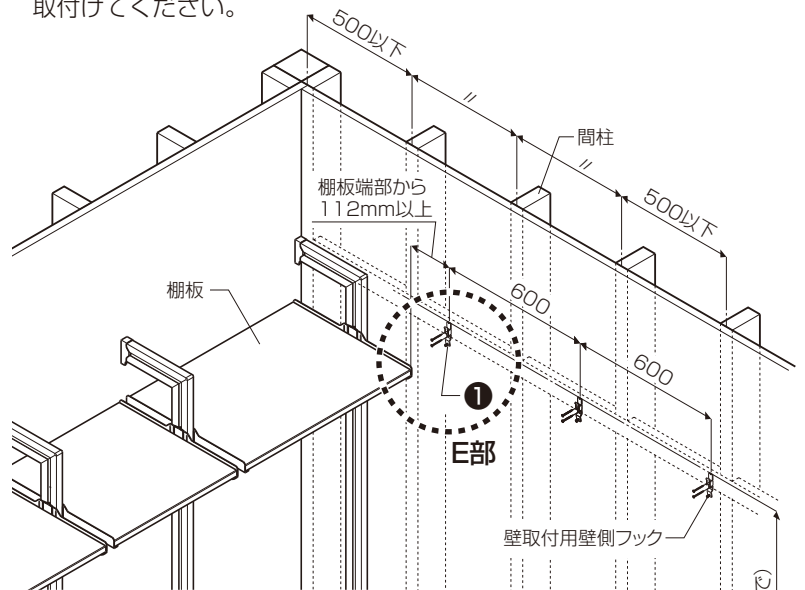
●お願い
※フレームの設置・棚板の取付け方法は、P6の2~P9の6を参照してください。

8 [L型プランの場合]

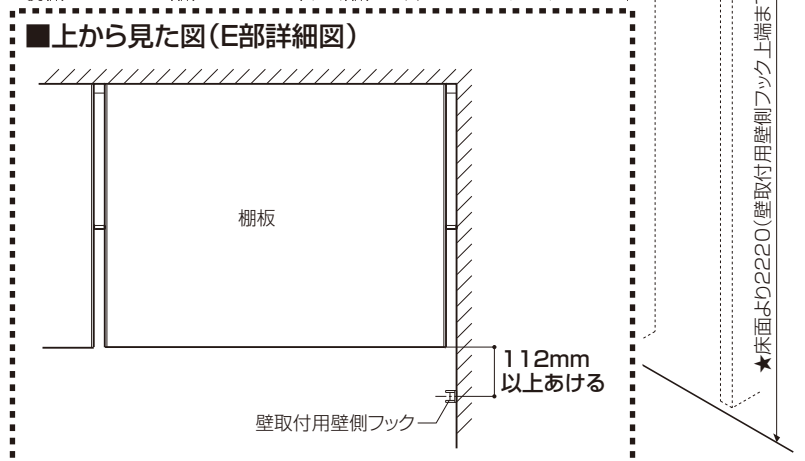
壁取付用壁側フックの取付け(もう一方の壁面側)

※壁取付用壁側フックの取付け方法は、P5の「■壁取付用壁側フックの取付け」を参照してください。

●①の壁取付用壁側フックは、棚板の前面木口から112mm以上あけて取付けてください。



■上から見た図(E部詳細図)

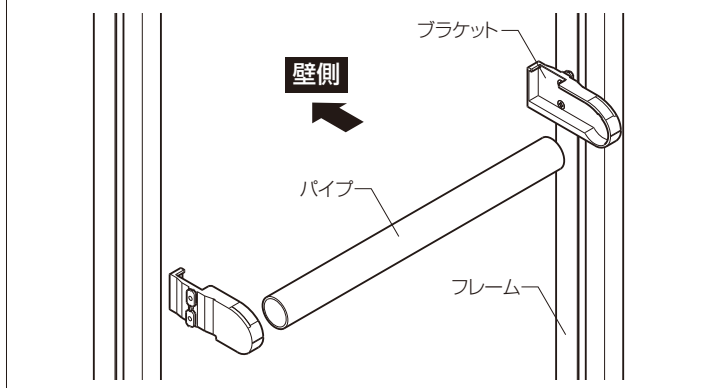


組立て・取付け順序（内部パーツ）

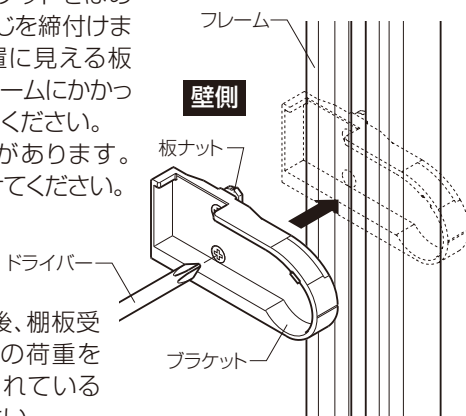
■組立て・取付け順序

■ハンガーパイプセット・小物掛けパイプセットの取付け

■ハンガーパイプセット

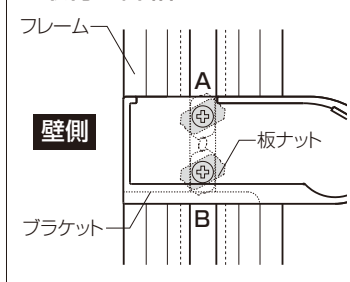


- ① フレームの溝にブラケットをはめ込み、ドライバーでねじを締付けます。その際、A・B位置に見える板ナットが、回転してフレームにかかっていることを確認してください。
 ※ブラケットには左右があります。必ず確認のうえ取付けてください。

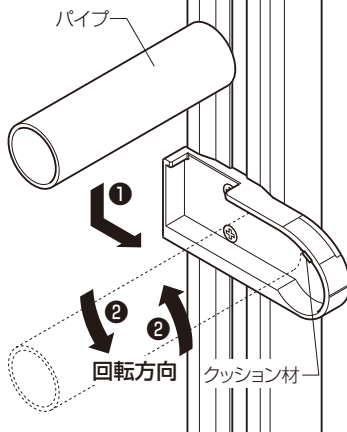


- ※ドライバーにて固定後、棚板受けアングルに下方向の荷重をかけ、しっかり固定されていることを確認してください。

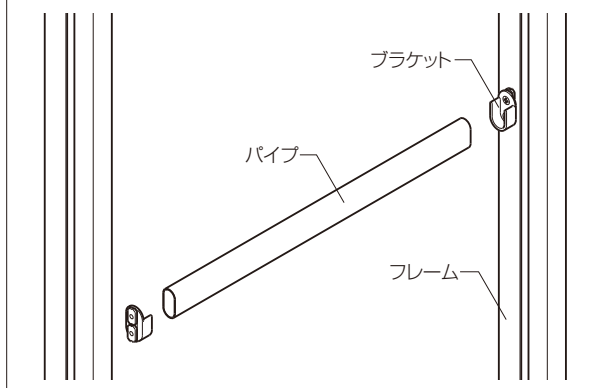
■取付け詳細



- ② ハンガーパイプをブラケットに差込む際は、図の→の方向にパイプを回転させながら入れてください。
 ※クッション材がめくれてしまいます。

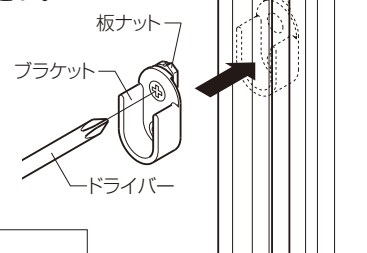


■小物掛けパイプセット

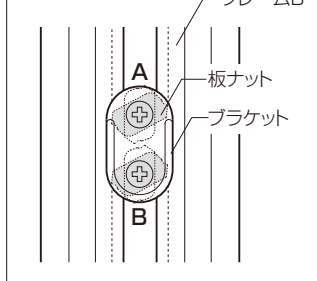


- ① フレームの溝にブラケットをはめ込み、ドライバーでねじを締付けます。その際、A・B位置に見える板ナットが、回転してフレームにかかっていることを確認してください。

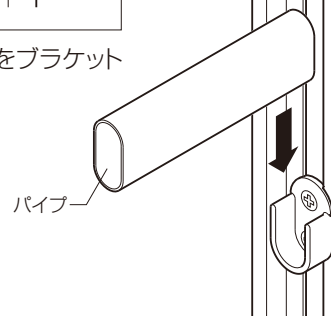
- ※ドライバーにて固定後、棚板受けアングルに下方向の荷重をかけ、しっかり固定されていることを確認してください。



■取付け詳細



- ② ハンガーパイプをブラケットに差込みます。



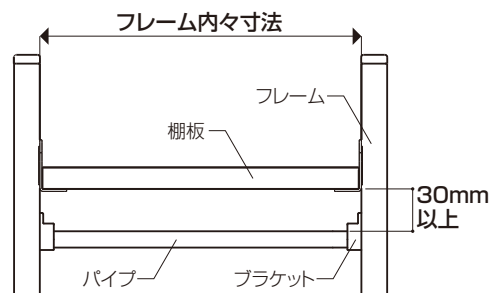
■間口調整箇所への取付け

- 間口調整を行った位置へのパイプの取付けは、以下の寸法にパイプを切断してください。

- ・ハンガーパイプの場合: フレーム内々寸法-7mm
- ・小物掛けパイプの場合: フレーム内々寸法-1mm

●お願い

- ※パイプは棚板より30mm以上あけてください。パイプが取付けられなくなります。



2 棚板の取付け

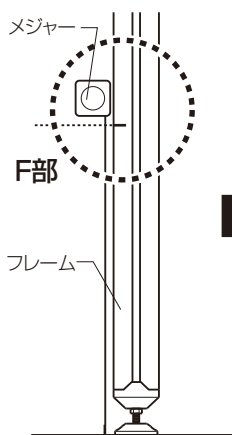
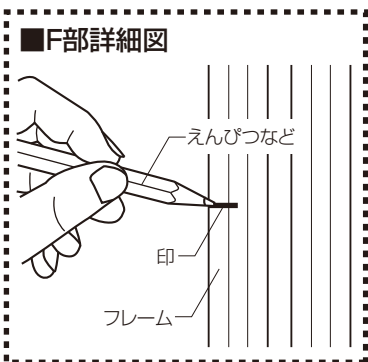
※棚板の取付け方法は、P8の4、5を参照してください。

●お願い

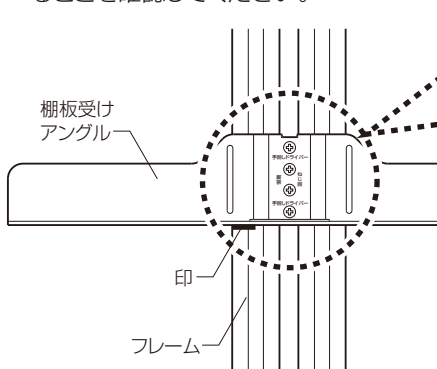
- ※棚板の取付けは、上段から1枚ずつ乗せて、ねじで固定してください。
- ※床面より500mm以内の位置に棚板を設置する場合は、棚板を固定するねじ止めは不要です。
- ※棚位置を変える際は、板ナットを止めているねじを軽く緩め、板ナットが外れないように注意してください。
- ※棚板の位置調整は、棚板を棚板受けアングルにねじ固定する前に行ってください。
- ※棚板は必ず水平・垂直に取付けてください。

【棚位置をフレームの溝のくぼみに合わせない場合】

①床面からの寸法位置を出し、えんぴつなどで印をつけます。

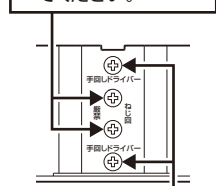


②棚板受けアングルをフレームにはめ込み、棚板受けアングル下端を位置出し部に合わせて固定します。
※ドライバーにて固定後、棚板受けアングルに下方向の荷重をかけ、しっかり固定されていることを確認してください。



●ねじ回し厳禁

●このねじは回さないでください。



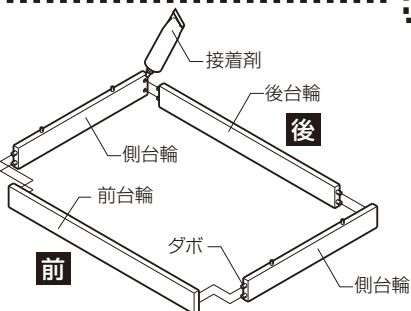
●手回しドライバー

●板ナットを固定するねじです。

3 引出しの設置

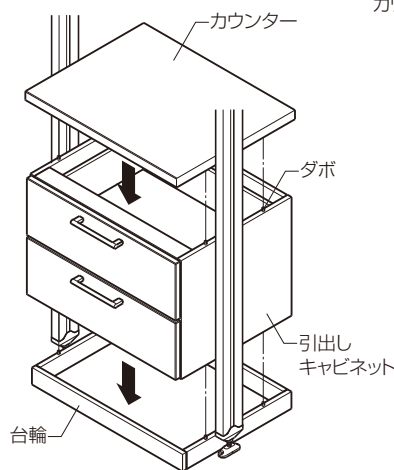
①台輪を組立てます。

●お願い
※台輪の全てのダボ穴に組立て用接着剤(同梱)を塗布して組立ててください。

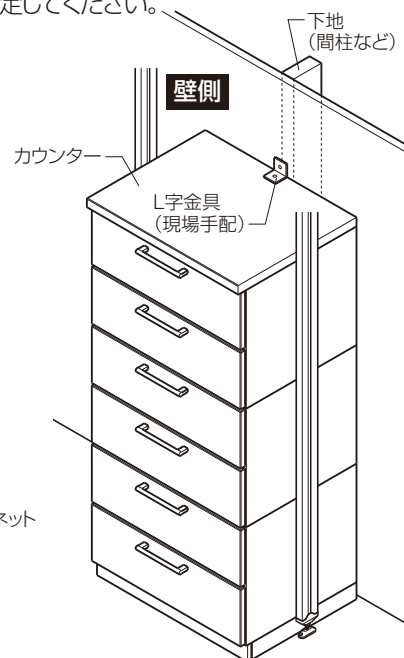


②台輪をフレームの間に置き、キャビネット(側板)を台輪にはめ込みます。

※プラン変更を可能にするため、カウンター・キャビネットのダボ穴に接着剤は不要です。

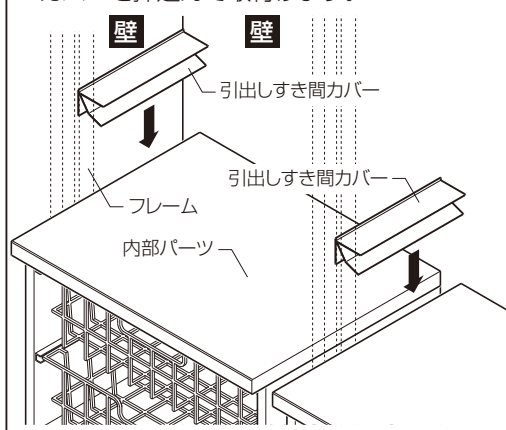


※引出しの積み重ねは3段までとしてください。
※その際、壁とカウンターを、L字金具(現場手配)で固定してください。



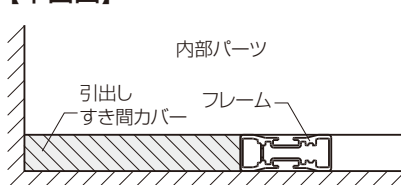
■引出しすき間カバーの取付け

●壁面・内部パーツとのすき間に、引出しすき間カバーを押込んで取付けます。

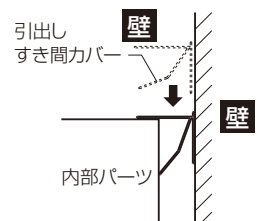


■取付け詳細図

【平面図】






【正面図】

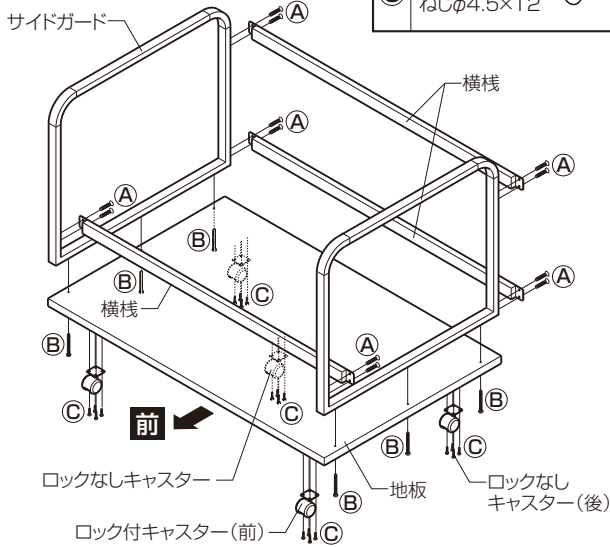


4 寝具ラックの組立て

- ① 地板にサイドガードを取付けます。
- ② サイドガードに横棧を取付けます。
- ③ 地板にキャスターを取付けます。

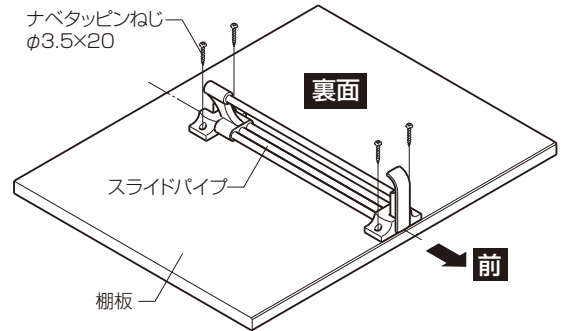
■ねじ一覧表

A	ナベ小ねじ M6×10	
B	ナベ小ねじ M4×35	
C	トラスタッピン ねじφ4.5×12	



5 スライドパイプの取付け

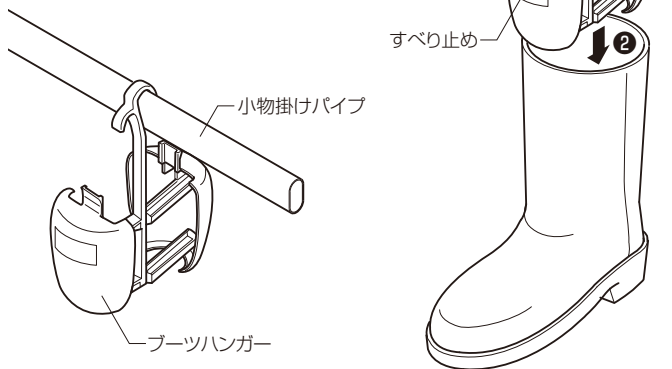
- 棚板裏面に、付属のねじで任意の位置にねじで取付けます。



6 オプションパーツの取付け

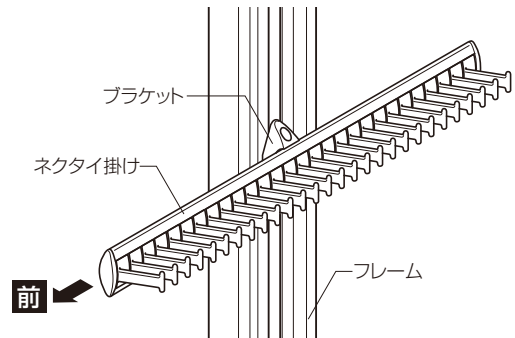
【ブーツハンガー】

- ※ 小物掛けパイプ専用です。
- 小物掛けパイプに吊してください。(ハンガーパイプには吊せません。)



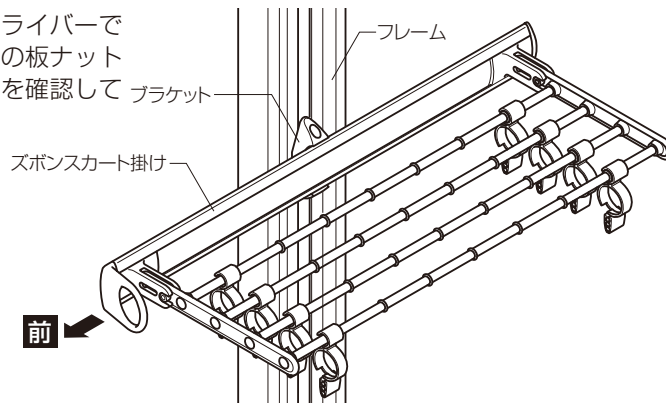
【ネクタイ掛け】

- フレームの溝にブラケットをはめ込み、ドライバーでねじを締付けます。その際、ブラケット裏の板ナットが回転して、フレームにかかっていることを確認してください。



【ズボンスカート掛け】

- フレームの溝にブラケットをはめ込み、ドライバーでねじを締付けます。その際、ブラケット裏の板ナットが回転して、フレームにかかっていることを確認してください。



株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 店舗関連商品に関する商品相談は…TEL.03-3638-8152 月～金 9:00～17:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)
- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号 MAL-717E | 事業所コード CPZ1 | 2017.12.01 発行

